

会議の経過	
開会年月日時刻	令和5年7月27日（木） 午後2時00分
閉会年月日時刻	令和5年7月27日（木） 午後3時10分
会議の場所	館林市役所 研修室
会議次第	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会議録署名委員の指名 3. 前回会議録の承認 4. 教育長事務報告 5. 議事 <ul style="list-style-type: none"> 議案第33号 館林市文化会館設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 議案第34号 館林市学習支援用タブレット端末貸出要綱の一部を改正する要綱の制定について 議案第35号 令和6年度使用教科用図書の採択について (非公開) 6. その他 7. 閉会 	

会議の経過

出席委員	<p>第1番 堀 口 哲 哉 第2番 木 戸 浩 之 第3番 栗 原 昇 第4番 川 島 健 治 第5番 金 子 千 秋</p>
欠席委員	<p>第1番 第2番 第3番 第4番 第5番</p>
提案説明のため出席した者	<p>教育長 川 島 健 治 教育次長 始 澤 勝 也 教育総務課長兼学校給食センター所長 木 村 和 好 生涯学習課長 廣 澤 篤 行 参事兼学校教育課長 井 戸 健 二 文化振興課長 中 村 豊 スポーツ振興課長 高 橋 一 哲 向井千秋記念子ども科学館長 石 崎 治 図書館長 森 田 秀 利 総括係長 折 原 嘉 和 書記 横 山 瑠璃子</p>

会議の経過

<p>教育長</p>	<p>それでは、定刻となりましたので、館林市教育委員会定例会を開会いたします。 (午後2時00分)</p> <p>本日の日程は別紙のとおりです。</p> <p>次に、日程第2 会議録署名委員を指名いたします。</p> <p>今回の署名委員は1番 堀口委員、2番 木戸委員を指名いたします。</p> <p>次に、日程第3 前回来議録の承認については、後日読んでいただき承認するものとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員から「異議なし」の声あり)</p> <p>異議ないものと認め、そのようにいたします。</p> <p>次に、日程第4 教育長事務報告をいたします。</p> <p>一般事項(1)群馬県都市教育長協議会第2回定例会が、7月25日に前橋市の臨江閣で行われました。会議では、事務局より、全国都市教育長協議会令和5年度第3回常任理事会の結果報告がありました。また、渋川市より「休日の学校部活動の地域移行について」の照会と、前橋市からの提案で「教員の働き方改革の取組状況について」の情報交換が行われました。次回、第3回定例会は10月24日(火)に富岡市で開催されます。</p> <p>私からの報告は以上でございます。</p> <p>続いて、教育委員会各課の処理事務報告ですが、議案書に記載されている事柄について補足説明等必要なものがありましたら、説明をお願いします。何かございますか。</p>
<p>スポーツ振興課長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、スポーツ振興課長。</p>
<p>スポーツ振興課長</p>	<p>前回、6月定例会におきまして、木戸委員より城沼総合体育館空調工事に伴う施設利用者への影響について、ご質問をいただきました。工事期間中は全館休館することなく、アリーナ等を半面ずつ利用できる形で工事を進めていくということで説明させていただきました。今回は具体的な工事の流れにつきまして、図面がございますので、そちらを元に補足説明させていただきます。お手元の資料をご覧ください。主な点につきましてご説明させていただきます。はじめに、ダノン城沼アリーナ、城沼総合体育館の空調設備等改修工事についてですが、工期といたしましては令和5年6月19日から令和6年5月31日までとなります。具体的な工程といたしましては、赤色・青色で分けてありますように、体育館を南北に分け、8月から北側を上期工事として施工を始め、終わり次第12月頃から南側を下期工事として進めていく予定です。そのため、上期工事の際には</p>

会議の経過

<p>教育長 生涯学習課長 教育長 生涯学習課長</p>	<p>1階の剣道場、レスリング場、下期工事の際には卓球場、トレーニング室が使用できません。2階の図面になりますが、アリーナも同様に上期は北側半面、下期は南側半面が使用できなくなります。また、3階の図面になりますが、ランニングコースにつきましては8月から工事が完了するまでは使用不可となります。このように、1階各運動場、2階アリーナにつきましては、工事期間中であっても南北エリア半面ずつを使用できるように工事を進めていく予定であります。また、資料にはございませんが、前回もご説明させていただいたとおり、令和3年3月からワクチン接種会場となっておりました市民体育館が返却されることから、ダノン城沼アリーナの工事の開始に合わせ、代替施設として使用できるよう、8月から貸出しを再開いたします。以上、補足説明とさせていただきます。</p> <p>ありがとうございます。そのほか、何かありますか。</p> <p>はい、教育長。</p> <p>はい、生涯学習課長。</p> <p>議案書8ページをご覧ください。生涯学習課5月の行事ですが、先月の定例教育委員会の際、大島公民館の5月主催事業はなしと議案書に記載させていただきましたが、誤りでありましたので改めて記載させていただきました。大変申し訳ありませんでした。お詫びして訂正いたします。参考までに5月9日・22日の世代間交流ですが、9日はサツマイモ苗植えのために畑の畝づくりを、22日についてはサツマイモの苗植えを行いました。また、5月22日の高齢者教室ですが、ボッチャを行ったような状況です。</p>
<p>教育長 文化振興課長 教育長 文化振興課長</p>	<p>ありがとうございます。他に何かございますか。</p> <p>はい、教育長。</p> <p>はい、文化振興課長。</p> <p>議案書17ページをお開きください。下段の文化会館トイレ改修工事について補足させていただきます。文化会館1階宴会場近くのトイレ、2階会議室近くのトイレ、職員がいる事務室近くのトイレ、それから、大ホールの出演者が使う楽屋近くのトイレ、この4か所のリニューアルを予定しております。工事期間中は、場所は検討中ですが仮設トイレを設置する方向で進めております。仮設トイレといっても工事現場やマラソン大会にあるようなものではなく、屋外できちんと管理された水洗トイレのようなものをイメージしていただきたいのですが、そのような仮設トイレを設置させていただきます。ただ、図書館も現在水回りの工事を進めておまして、利用者の皆さんに文化会館のトイレを利用してもらっています。図書館の</p>

会議の経過

	<p>工事スケジュールに配慮しまして、文化会館トイレの工事中となる期間が最短となるよう努めてまいります。また、文化会館の宴会場、大ホールの繁忙期なども考慮しながら、完璧といかないまでも利用者の皆さんにご不便を来さないよう最大限の努力をしていきたいと思っております。以上でございます。</p>
教育長	<p>ありがとうございました。そのほか、いかがでしょうか。 (事務局から「なし」の声あり)</p>
教育長	<p>それでは今回の事務報告について、質疑がありましたらお願いします。</p>
堀口委員	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、堀口委員。</p>
堀口委員	<p>生涯学習課の後援等に関する事で、7月23日に子育てセミナーとありますが、こちらの内容を教えていただければと思います。</p>
生涯学習課長	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、生涯学習課長。</p>
生涯学習課長	<p>失礼いたしました。私の認識不足で、お答えできる資料を持ち合わせておりません。後日改めてご報告させていただきます。よろしく願いいたします。</p>
堀口委員	<p>よろしく願いいたします。</p>
教育長	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
栗原委員	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、栗原委員。</p>
栗原委員	<p>第一中学校の自動火災報知設備改修工事は半年の工事期間がありますが、その間火災が起きるなど、そういった場合に支障はないのでしょうか。</p>
教育総務課長	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、教育総務課長。</p>
教育総務課長	<p>第一中学校の自動火災報知設備改修工事の工期が長い理由ですが、機械の部品がなかなか手に入らない可能性があるということで長く取っております。ただ、現在は発注がかかっておりまして、業者に確認したところ、この期間内には間違いなく入るということでございます。また、実際の工事期間は、例えば土曜日丸々1日やれば交換できる、ユニット一式で交換するということですので、なるべく先生たちがいない期間を利用して変えていくということでございます。</p>
栗原委員	<p>では、火事等が起きても対応は大丈夫ということですね。</p>
教育総務課長	<p>交換している時が一番危ない時ですので、なるべく人がいない、子どもや先生もいない時を考慮して行くと業者からは聞いております。</p>

会議の経過

栗原委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
金子委員	はい、教育長。
教育長	はい、金子委員。
金子委員	3ページの8月3日と8月8日に市P連家庭教育委員会の行事が入っていますが、これは保護者対象なのでしょうか。それとも、2日間の内容を見ると児童生徒が行ってもいいような場所なので、子どもたちを対象として考えて企画したのでしょうか。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	お答えいたします。こちらの2日間で、カルピスみらいのミュージアムとハウスギャバン関東工場の2か所の施設見学を予定しています。対象者ですが、市P連家庭教育委員会の親子を対象とした事業でございます。一方のみ参加することも可能ですし、両方参加することも可能となっております。以上でございます。
金子委員	両方申込みできるということですが、申込人数は多かったのでしょうか。最大何人くらいまで申し込めるのでしょうか。先日、たまたまテレビでやっていたものですから気になりました。
生涯学習課長	8月3日のカルピスみらいのミュージアムの方ですが、こちらは保護者や中学生、その他幼児も参加できることになっており、合わせて30名の方が参加する予定となっております。続きまして、8月8日のハウスギャバン関東工場ですが、こちらにつきましては全部で20名の方が参加予定です。保護者や高校生を含め、小中学生、幼児を合わせての参加予定者数です。以上でございます。
金子委員	なかなか個人では行けない場所なので、子どもたちにとって楽しい思い出になればいいと思いました。ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	三野谷公民館の行事にカツモウマ作り（カツモ刈り）とありますが、この「カツモ」とは何でしょうか。教えてください。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	お答えいたします。カツモはイネ科の多年草のマコモと呼ばれる植物で、丈は1.5メートルから2メートルになるそうです。今回採取したカツモ

会議の経過

	<p>につきましては、上三林町地区内の新谷田川富士見橋付近で自生するものを採取したものでございます。これを乾燥させまして、最終的には地域の方と一緒にカツモウマというものを作成する予定になっております。以上でございます。</p>
<p>木戸委員 生涯学習課長</p>	<p>カツモを使ったウマということですか。 カツモという多年草を使って作ったウマです。三野谷地区におきましては毎年8月7日の旧暦の七夕に合わせまして、七夕様はウマに乗ってやってくるといわれているそうですので、地域の伝統行事として毎年こういった形で飾るということをやっております。第七小学校の玄関にも飾っておりますので、機会がございましたらご覧ください。</p>
<p>木戸委員 教育長</p>	<p>わかりました。初めて聞きましたが、地域の伝統行事のようなものですね。そのほか、いかがでしょうか。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、栗原委員。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>4ページ、8月26日に名護市・館林市青少年交流事業ということで、コロナが落ち着いて、また名護市との交流が再開されたのかと思いますが、事前研修の内容と参加した方々の立場等を教えていただければと思います。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、生涯学習課長。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>お答えいたします。名護市と館林市の青少年交流事業の事前研修という形で、2回ほど予定しております。まず、1回目の8月26日(土)につきましては、館林市の観光ボランティアガイドの会にご協力いただきまして、里沼文化を中心に館林の自然について学ぶ予定となっております。2回目の9月24日(日)につきましては、渡瀬公民館において、市史編さんセンター職員にご協力いただき、館林の歴史について学ぶとともに、名護市についての理解を深める研修を予定しております。そのほか、名護市に行った後の交流会で館林の出し物といたしまして、館林クイズというものを作成する予定となっております。参加者は児童20名の予定となっております。実際に名護市に行く日程ですが、10月7日・8日・9日で行く予定となっております。以上でございます。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>名護市に館林市の歴史等を伝えるための研修会を児童が行って、それから名護市に行くということですね。良い研修会になればいいと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
<p>金子委員</p>	<p>はい、教育長。</p>

会議の経過

教育長	はい、金子委員。
金子委員	13ページの児童生徒の不登校についてです。表を見ますと、小学校で増えてきていると思っていたのですが、中学校の方でも大分不登校が増えてきていると感じました。原因等で何かわかることはありますか。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	不登校につきまして、いろいろご心配いただきありがとうございます。委員もおっしゃるように、中学校の方で、5月もそうでしたが6月で急激に増加しております。各学校への聞き取り、また過日、各中学校における心の教室相談員、あるいはスクールカウンセラーとの会議における情報交換から得られたこととして、4月と5月で一生懸命に取り組んできた生徒が、これは5月の連休明けにもいえることだったのですが、少し息切れをしてしまったと考えられるのではないかというご意見がありました。特に中学校3年生、修学旅行までは一生懸命学習に運動に取り組んでいたところですが、その後不登校傾向になってしまったという生徒も複数名いると聞いております。また、不登校の原因としてはこれまでも申し上げているように、無気力や不安を理由とする傾向が圧倒的に多かったのですが、この5月・6月、特に中学生では生活リズムの乱れといったものを理由として挙げている生徒が増えています。これは本市だけではなく、全国的にもそういった状況ではあります。これらの点を踏まえ、夏季休業期間に入っておりますが、この夏季休業の終盤、休みが終わる最後の1週間、2学期開始直後、期間を分けて具体的な方策を過日の校長会議でも各校長にお願いをして、学校ごとに取り組んでもらっている状況でございます。
金子委員	夏休み中にスクールカウンセラーや心の教室相談員が実際に不登校気味の生徒や不登校の生徒に直接会って、お話を聞くような機会というのはあるのでしょうか。
学校教育課長	通常、学校で勤務していただいているスクールカウンセラーや心の教室相談員は勤務条件の関係がございまして、夏休み中の勤務はないというのが現状でございます。そうしたところで、今年度は委員がおっしゃるように、夏休み中でも相談したい児童生徒や保護者に対応するために、本市で独自にスクールカウンセラーを雇用しております。学校からの要望に応じてその辺りの調整をしていきたいと考えております。以上です。
金子委員	ありがとうございます。長期の休み、特に春休みなどは、子どもたちの気持ちが悪くも悪くも変わる時期だと思います。気持ちのリセット、そのような機会をなるべく与えて、夏休みが終わった時点で新たなスタートがで

会議の経過

	<p>きるように、その方向性へ持っていくことができれば本当に理想だと思っています。子どもに寄り添いながらやっていただければと感じました。以上です。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>先ほど、最後の1週間での手立てというのを申しあげたところですが、学校によってはその期間に各家庭の保護者、もちろん児童生徒も含めてですが、心身の健康状況といったものをオンラインを通して聞くようなこともあります。委員がおっしゃったような新たな2学期の目標、1学期をリセットしてということも含めながら、そういったところも取り入れてまいりたいと思います。ありがとうございます。</p>
<p>教育長</p>	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
<p>堀口委員</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、堀口委員。</p>
<p>堀口委員</p>	<p>今のことに関連して、特に中学生の不登校者が増えているということで、それに対応して今子どもたちが持っているタブレットを使ってオンラインで授業等を不登校の子に配信しているのかどうかお伺いします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、学校教育課長。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>本人、それから保護者からの要望に応じて、端末を使って授業等を配信している、そういったケースがある学校もございます。また、相談室登校の生徒が登校した際、リモートで授業を受け、画面越しではありますが学級の雰囲気を感じ取りながら、教室へ復帰できるようになったような事案もあります。以上です。</p>
<p>堀口委員</p>	<p>今お話がありましたように、学校には行きたいけれど教室には顔を出せないという子もいらっしゃると思うので、そういう子たちにはタブレットが非常に有効に使われているのではないかと思います。引き続きよろしく願いいたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
<p>木戸委員</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、木戸委員。</p>
<p>木戸委員</p>	<p>中学生に不登校が多く見られるということで、例えば最近暑くなってきますから、マスクをしないというような状況が増えていると思います。ずっとマスクをしていた状況から、マスクを外せなくなっているような生徒ももしかしたらいるかもしれません。それが直接不登校につながっているかは別としまして、そういった傾向も一つあるのかなと感じました。以上です。</p>

会議の経過

学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	貴重なご意見ありがとうございます。この暑さの中でもマスクを外せない生徒がいるというのは、現状おっしゃるとおりであります。コロナ禍のマスク生活、3年と少しでしょうか。我々が想像する以上に、特に思春期の子どもたちにとっては大きかったのだらうなと感じます。その一つの例が人との関わりやコミュニケーション、そういうところにも影響していますし、人前で話をする、一昔前であれば友だちと何気なく会話するようなどころでも神経を使うような生徒が増えてきているような実情があります。それが不登校問題とは別かもしれませんが、やはり人との関わり、コミュニケーションという点では、取り戻すには長い期間が必要になってくるのではと認識しております。以上です。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	15ページにある研究所の野外体験活動についてです。不登校問題解決の一助として行っていると思いますが、活動内容と参加された児童生徒の様子等を教えていただけますか。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	野外体験活動につきまして、前回定例会の際に申し上げたように私も参加させていただいたのですが、この野外体験活動については、今ご質問をいただいたコミュニケーション、「自分の気持ちを伝えてみよう」ということを目標としています。それ以外にも「誰とでも仲良くしよう」、「いろいろなことにチャレンジしてみよう」、事前学習を学級生は行いましたので、「自分の目標を持とう」、主にこの4つの目標について実施いたしました。活動内容については、桐生市の野外活動センターで行ったところですが、入所式を経て、マス掴みでマスを放流した桶のような場所では、本当に子どもたちが子どもらしくはしゃいで魚を捕っておりました。その捕ったマスを自分でさばいて塩焼きにして食べたり、野外調理ではカレーやデザートを子どもたちが作ったのですが、薪割りから始めて、火起こし、火の加減などを調整しながら飯ごうを使ってご飯を炊いたり、カレーの材料を刻んで皆で食べたりというような状況がありました。本当に子どもたちが生き生きと楽しそうに活動している状況が見られました。今年度初めてアンケートを取ったのですが、参加した児童生徒、保護者の方から「楽しかつ

会議の経過

	<p>た」、「とても楽しかった」ということで回答をいただいているところです。その理由としては、普段は集団活動ができないこともあるけれど、良い経験ができたということ、それが自然の中で体験できたということ、また、子どもたちの中には「普段は1人で学習したり遊んだりすることが多いけれど、友達と協力してこんな楽しい活動ができて良かった」というようなものや、「自分でカレー作りにチャレンジできた」、そういった非常に前向きな生き生きとした姿が思い浮かぶような回答が得られました。先ほど人との関わり、コミュニケーションが苦手と申し上げました。普段なかなか学校に足が向かないようなお子さんもいたのですが、初めて会うようなお子さんがいる中でも中学生が小学生に、あるいは小学生が中学生にと、異年齢の中での関わりがあったのは非常に大きな効果があったというふうに認識しております。以上です。</p>
<p>栗原委員 学校教育課長</p>	<p>その後、適応指導教室につながった児童生徒はいるのでしょうか。適応指導教室に入級していたのですが、休みがちだった生徒が実際に今まで以上に来られるようになったケースもございます。また、正式に入級はしていないのですが、入級に前向きになったケースも実際にはございます。以上です。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>教育長</p>	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
<p>金子委員</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、金子委員。</p>
<p>金子委員</p>	<p>同じく15ページの6月事業報告にある教科書展示に行ってみた感想です。会場に行くと最初に思ったことは、出版会社というのはかなり数があるのだなということです。素人ですからどこが良いかなどはわからないのですが、取り上げている題材が出版社によって大分違うのだなということがわかりました。出版社によっては1年生から6年生までの教科書が1つのケースの中に収まって立てられていました。およそ2部ずつあったのですが、そうすると手に取って見る時に6年生のものまでしっかりと入っていると私の力では取り出すことができませんでした。もし可能でしたら、取り出せるように本立てに配置していただければ見やすかったなと思いました。それから、本を手取るわけですから、周りに長椅子はあったのですが、簡易のもので良いので机とイスを置いていただいて、座って見ることができれば何社か見比べることもできたかと思います。立ちながら、見ながら、力仕事でと、広げてあるわりには見づらかったなというのが感想です。もし可能であれば、そういったところを直していただければと思</p>

会議の経過

	います。以上です。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	貴重なご意見ありがとうございました。おっしゃるように、なかなか取りづらい出版社もあるなど感じましたので、今の机とイスの件も含めまして次年度以降の課題としてまいりたいと思います。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	少し戻りまして12ページなのですが、8月行事予定の中の「英語村」のイベント内容について教えてください。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	「英語村」のイベントは、小中学校ともに、学校の枠を超えて同じ世代の友達や仲間と出会う、また、ALTと英語交流プログラムを体験することを通して、英語への興味関心、コミュニケーション能力を育成するという大きな目的がございます。そういったことを受けまして、昨年度は小学校では市内ALTの出身国の様子や文化、食習慣を、言語活動を通じて学びました。今年度はグループでブースを作りながら、パーティーゲーム、私も国によってどのように違っているか詳細なところは把握していませんが、日本で考えているパーティーとは若干違うようです。そういったゲームを通して学ぶ、併せて小学生の前でリズムに合わせて体を動かしたり、クイズに答えたり、そういった中で英語や外国の文化にたくさん触れるということをねらいにしております。中学校につきましては、職場体験という大きなテーマを昨年度、それから一昨年度も続けております。本年度も同じように、職場体験という一つの大きなテーマを設けながらALTや他校の中学生、友達と一緒に館林の魅力を伝える動画を作ろうという、地域プロモーション部門の社員になったつもりで、プロジェクトを成功させるという大きなテーマの下で行う予定です。詳細については今ALTで考えていますが、そのような内容で計画しているところです。
木戸委員	小学校の人数が多く、中学生の方は30人ほどしかいないというのは何故かと思ったのですが、行われるイベントの内容によってこうなったということでしょうか。
学校教育課長	内容というところもありまして、小学生は定員を超えるような応募があるのですが、中学生は定員に満たないようなところもあります。なるべく数

会議の経過

	<p>を絞って、子どもたちに英語を使う楽しさをまず感じてもらいながら、そういった意図から行っているものであります。以上です。</p>
<p>木戸委員</p>	<p>わかりました。中学生ですと、受験といったものも出てくるからかと感じたものですから。ありがとうございました。</p>
<p>教育長</p>	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、栗原委員。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>5ページにある郷谷公民館行事、6月27日のいきいきわくわく教室「二中学生との交流会」について、第二中学校で行っていますが、その内容等を教えていただけますか。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、生涯学習課長。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>お答えいたします。第二中学校におきましては、2年生の総合的な学習の時間で福祉の学習を行っております。6月27日につきましては、郷谷公民館の高齢者教室の方々との意見交換会を実施しました。生涯学習課職員を講師に、私たちの周りにおける様々なバリアについての話題を提供していただき、バリアフリーについて中学生と高齢者教室の皆さんと一緒に考えました。特に、日頃感じている意識上のバリアはどのようなものか、それをなくすにはどのような行動をとるべきかについて、グループごとに意見交換を行い、考えを深めることができたと同っております。以上でございます。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>参加者5名というのは、参加した中学生が5名ということでしょうか。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>参加した高齢者の方が5名ということになります。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>わかりました。</p>
<p>教育長</p>	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
<p>堀口委員</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、堀口委員。</p>
<p>堀口委員</p>	<p>12ページの8月行事予定にある学力向上コーディネーター会議について、この学力向上コーディネーターというのは読んで字のごとくかとは思いますが、どのような内容か教えていただければと思います。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、学校教育課長。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>学力向上コーディネーター会議は、各学校にその学校の学力向上を中心に務めるコーディネーターというのを1名ずつ置いておりますが、その16名と指導係長と担当指導主事ということでの会議となっております。この</p>

会議の経過

	<p>学力向上コーディネーター会議については、実はここ数年このような会議は設けていなかったのですが、今年度再開した次第です。その理由といたしましては、もちろんコーディネーターが日頃の授業の中で授業改善に務めながら、基礎的な学力やその時間で学ぶこと、そのような授業の工夫を話し合うということが大きなねらいではあるのですが、本年度は本課より今年4月に各学校に家庭学習の手引というものを配布しております。この家庭学習の手引は、夏休みの前にも夏休み版家庭学習の手引というものを各学校に送っております。この手引というのは、先ほど申し上げたこれまでの漢字や計算といった基礎的な部分の家庭学習ということもありますが、それだけではなく、この社会構造の急速な変化、予測困難な時代を迎えるにあたって子どもたちも正解のない課題や誰も予想できなかった課題、複雑化した課題に対して児童生徒が自ら主体的に取り組む課題、それを家庭学習で取り組んでほしいという意図から作成し、配ったものです。これまでのような基礎的な学習と並行して、それだけではなく、これからの時代に求められる資質・能力の視点から、今までも理科の自由研究などもあったのですが、理科以外でも他教科で学んだことを基に自分で課題を見つけて自分で解決していく、そういった取組をどのように各学校で行っているかということとその会議で情報共有して今後の子どもたちの学習の仕方に生かしてまいりたいと考えております。以上です。</p>
堀口委員	<p>ありがとうございます。今の子どもたちはなかなか自分で解決することが難しいと思うので、そういったところでこのような手引等を使って、学校で授業をしていただけるとありがたいです。</p>
教育長	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
金子委員	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、金子委員。</p>
金子委員	<p>7ページに戻りますが、分福公民館行事のスライム作りについて、このスライム作りというのはどのようなことを行うのかお聞きしたいです。</p>
生涯学習課長	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、生涯学習課長。</p>
生涯学習課長	<p>スライムというのは、カラフルな色合いのジェル状の玩具のようなものです。伸びたり、粘着力はないのですが触感が非常に冷たいということもありまして、過去に一世を風靡したこともございました。</p>
金子委員	<p>わかりました。こちらを作るとなると、もしかして液体を固めてなど、そういったことを行うのでしょうか。子どもたちも作ることができるものですか。</p>

会議の経過

生涯学習課長	こちらのスライム作りは、水100mlに対しホウ砂という薬品を混ぜた上でPVAのり50mlをコップに入れ、同程度の水を50ml加えてかき混ぜますと、だんだん固まりつつスライムになるそうです。各公民館の少年教室等も含めて人気のある催し物で、それぞれで行っているような状況です。
金子委員	詳しい説明をありがとうございました。公民館もいろいろな行事を行っていて、講師の先生もいろいろな引き出しを持っていないと提供できないな、大変だなと感じます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	32ページの給食センターのところで、里沼献立を我々も試食させていただきましたが、その第2弾が終わったかと思います。子どもたちの反応はどのようなものだったか教えていただければと思います。
学校給食センター所長	はい、教育長。
教育長	はい、学校給食センター所長。
学校給食センター所長	里沼給食につきましては、4月、5月、6月と全ての沼の給食を学校給食の献立で提供いたしました。特に、子どもの好きなメニューになってしまうのが鶏肉のホワイトソースがけといった少しアレンジしたものなのですが、大分人気となったので、こういったメニューは今後もまた工夫しながら提供していきたいと考えております。以上です。
堀口委員	ありがとうございます。大変おいしくいただきまして、良かったです。可能であれば続けていただければと思います。よろしく願いいたします。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	16ページの文化振興課ですが、藤野天光顕彰事業の彫刻教室について、どのようなものを作ったのか、また、参加された方はどのような方だったのか教えていただければと思います。
文化振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、文化振興課長。
文化振興課長	藤野天光顕彰事業の彫刻教室は、小学4年生以上ということで大人も含めた彫刻教室として、藤野天光先生の一番弟子である方とそのお弟子さんに講師をお願いしました。12名の参加になっておりまして、小学生5人、中学生2人、一般5人ということで、今週月曜日から5回シリーズで開催

会議の経過

	<p>しております。作品ですが、木と金属でできた骨組みに粘土を付けまして、立体的に顔などを作っていくような立体といわれる作品、また、木の板に粘土を貼り合わせたレリーフというもの、そして、今回から初めて木を彫っていく木彫りの彫刻を始めました。この3種類の中からいずれかに挑戦していただいています。大体小学生は立体の作品、中学生はレリーフ、大人は木彫りに挑戦しております。非常に人気で、毎年12名定員なのですがすぐに定員に達してしまう講座でして、館林市ならではのものとなっております。以上です。</p>
栗原委員 文化振興課長	<p>定員が12人ということは入れなかった方もいらっしゃるのですか。 キャンセル待ちの方もいらっしゃいます。今回は順番待ちで待っていたところ、キャンセルがあったので参加できる方もいらっしゃいました。</p>
栗原委員 教育長	<p>ありがとうございました。</p>
木戸委員 教育長	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
木戸委員 教育長	<p>はい、教育長。</p>
木戸委員 教育長	<p>はい、木戸委員。</p>
木戸委員	<p>23ページのダノン城沼アリーナ使用状況についてです。軽スポーツというところで、合計人数260名とかなり多くの方が軽スポーツをやっているようですが、どういったスポーツをやっているのかお聞きしたいです。</p>
スポーツ振興課長 教育長	<p>はい、教育長。 はい、スポーツ振興課長。</p>
スポーツ振興課長	<p>ご質問にお答えいたします。こちらは、6月2日に開催されました市寿連合会の輪投げ大会参加者が占めております。コロナ禍で延期・中止されていた大会でございまして、4年ぶりの開催となったものです。また、そのほかに定期利用団体でボッチャなどを行ったものも含んでおります。以上です。</p>
木戸委員 教育長	<p>ありがとうございます。 そのほか、いかがでしょうか。</p>
栗原委員 教育長	<p>はい、教育長。</p>
栗原委員 教育長	<p>はい、栗原委員。</p>
栗原委員	<p>26ページの科学館事業で、ROCKET Labが2回開催されていますが、その内容と、参加者が4名と13名ということで差があるので、その理由についても教えていただければと思います。</p>
向井千秋記念子ども科学館長 教育長	<p>はい、教育長。 はい、向井千秋記念子ども科学館長。</p>

会議の経過

向井千秋記念子ども科学館長	<p>6月に行われましたROCKET Labの15日と21日の内容についてお伝えいたします。まず15日につきましては、湿度で色が変わる塩化コバルト溶液の性質を利用したてるてる坊主作りで、科学館では4人の子どもたちが参加しました。また、この講座は試行的にオンラインで教育研究所やフリースクールに配信して行いまして、そちらでは4人の子どもたちが参加したことから、報告には4人と書いてありますが、実際には8人の方が参加したことになります。昨年の1回当たりの平均を見ますと約10人ですので、やや少なめかとは思いますが、今後、オンラインが可能な講座につきましては、教育研究所やフリースクールのほか、小中学校の相談室ともオンラインで実施していければと考えております。その際は、今回は科学館のみで報告させていただいたのですが、オンラインの人数も記載してまいります。次に、21日の内容ですが、資源ゴミとして回収されたゲーム機やCDプレイヤー等の小型家電を解体する家電分解でございます。こちらは科学館のみで実施いたしました。毎年実施している人気の講座でして、13人の子どもが参加しました。文化振興課の電気技師の指導をもらいながら、取り外し方や部品の役割などを聞いて作業している子どもや自ら進んで分解していた子どももおりました。先ほど委員からお話がありました理由につきましては、家電分解のような人気の講座もありますが、子どもたちの興味関心が多様化していることはいえるのではないかと考えております。今後は参加者の個性に合った支援や、啓発の学びにつながる講座の開発に努めていきたいと思っております。以上でございます。</p>
栗原委員	<p>オンラインでのROCKET Labとなりますと、教材等は教育研究所や各児童生徒に届けなくてもいいような内容になるのでしょうか。</p>
向井千秋記念子ども科学館長	<p>教材は事前に科学館の方に取りに来ていただいて、配布したというところでございます。</p>
栗原委員	<p>わかりました。今後も魅力ある講座を開設していただきたいと思っております。ありがとうございました。</p>
教育長	<p>そのほか、いかがでしょうか。 (委員から「なし」の声あり)</p>
教育長	<p>ないようですので、事務報告は記載のとおり承認するものとしてよろしいでしょうか。 (委員から「異議なし」の声あり)</p>
教育長	<p>異議なしと認め、記載のとおり承認するものといたします。 次に、日程第5 議事に入ります。 議案第33号 館林市文化会館設置及び管理に関する条例施行規則の一</p>

会議の経過

<p>文化振興課長</p>	<p>部を改正する規則の制定についてを議題といたします。このことについて説明をお願いします。</p> <p>(別紙資料に基づき説明)</p> <p>提案理由等： 文化会館会議室等利用者の利便性を高めるための新たな機器導入に伴い、規則別表における附属設備の項目を追加するため、本規則の一部を改正しようとするものである。</p>
<p>教育長</p>	<p>ありがとうございました。ただ今の説明について、質疑等がありましたらお願いします。</p> <p>(委員から「なし」の声あり)</p>
<p>教育長</p>	<p>それではお諮りいたします。本案につきましては原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員から「異議なし」の声あり)</p>
<p>教育長</p>	<p>異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。</p> <p>次に、議案第34号 館林市学習支援用タブレット端末貸出要綱の一部を改正する要綱の制定についてを議題といたします。このことについて説明をお願いします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>(別紙資料に基づき説明)</p> <p>提案理由等： オンライン学習サービスの対象学年が変更となった場合に対応するため、本要綱の一部を改正しようとするものである。</p>
<p>教育長</p>	<p>ありがとうございました。ただ今の説明について、質疑等がありましたらお願いします。</p> <p>(委員から「なし」の声あり)</p>
<p>教育長</p>	<p>それではお諮りいたします。本案につきましては原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員から「異議なし」の声あり)</p>
<p>教育長</p>	<p>異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。</p> <p>次に、議案第36号につきましては、館林市教育委員会会議規則第17条第1項により非公開としたいと思いますが、非公開としてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員から「異議なし」の声あり)</p>
<p>教育長</p>	<p>異議なしと認め、ただ今から教育委員会を非公開とします。該当者については、一時退室を願います。</p>

会議の経過

【傍聴人及び事務局関係者 退室】

(非公開)

【傍聴人及び事務局関係者 入室】

教育長
堀口委員
教育長
堀口委員

次に、日程第6 その他で何かございますか。

はい、教育長。

はい、堀口委員。

教育長

過日、7月14日に沼田市のテラス沼田におきまして、群馬県市町村教育委員会連絡協議会の令和5年度第2回理事会が開催され、出席してまいりました。その結果をご報告させていただきます。会議では、報告事項が1件ありまして、関東甲信越静市町村教育委員会連合会の役員について、令和5年度につきましましては、関東ブロックの監事に沼田市の竹之内教育長が、理事に同じく沼田市の高橋教育長職務代理者がそれぞれ就任されたということでありました。また、審議事項の第2号議案といたしまして、令和6年度文教施策とその予算措置等に関する対県要望について審議を行い、県教育長と県知事、県議会議長へ17項目からなる要望書を本日7月27日に提出するということになりました。以上でございます。

ありがとうございました。ただ今の件につきまして、ご質問等ございますか。

(委員から「なし」の声あり)

教育長

そのほか、ございますか。

(委員等から「なし」の声あり)

教育長

ないようですので、以上で本日の全日程を終了します。

これにて教育委員会を閉会します。

(午後3時10分)